

公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会

令和元年度事業報告

I 概要

令和元年度においては、会員拡大を最重要課題として位置づけ、シルバースフェスティバルなどの普及・啓発事業に加え、国からの受託事業である高齢者活躍人材確保育成事業（以下「人材確保育成事業」という。）をこれまで以上に活用し、マスメディアを活用した広報活動や一般の高齢者を対象にしたセミナー（説明会）、技能講習会などの取組みを行った。安全・適正就業に関しては「安全はすべてに優先する」をスローガンに安全パトロールなどの安全・適正就業に関する取組みを行った。

また、県からの受託事業である高齢者子育て支援推進事業（子育てマイスター事業）においては、子育てマイスターの活動領域を広げるため、事業者等と子育てマイスターを結びつけるためのマッチング事業の充実を図った。

事業の成果を報告するに当たって、令和元年度における本県の雇用情勢をみると次のとおりの状況であった。

- ・ 令和元年度は12月まで有効求人倍率が1.5を上回る水準で堅調な動きで推移していたが、1月以降、前月比で連続して低下。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛や学校の一斉休校、イベント等の自粛の影響を受けた3月には、1.34となった。

最初に契約額をみると、請負・委任事業は、近年、微減傾向であったが、平成30年度を底に微増傾向となり、令和元年度は前年度に比べて2.3%増の約97億7,479万円となっている。また、シルバー派遣事業については、平成21年度の事業開始後、連続して前年度実績を上回って伸びており、令和元年度においては、前年度の約17%から低下したものの約13%増加し、12億7,740万円となっている。

次に、最重要課題と位置付けた会員拡大に関しては、シルバー人材センター（以下「センター」という。）での取組みを支援するため、人材確保育成事業を活用し、新聞・テレビ等によるセンターへの入会促進の周知広報や、一般の高齢者を対象にしたセミナー・技能講習会を実施し、216人の新規会員の獲得につながった。しかし令和元年度においては、新規入会者数及び退会者数の双方が前年度に比べ低下したが、新規入会者数の減少数がより大きく結果として240人の減少となった。

安全・適正就業についてみると、令和元年度中に重篤事故と認定された事故は1件で、昨年と同数であった。請負の事故では、傷害事故は昨年度に比べ1件の増であるが、賠償（物損）事故は除草作業中の石飛事故の増加等により約25%増の149件となっている。また、シルバー派遣事業における労働災害については8割増加の18件となっており、その半数は転倒事故である。

以上、概況であるが、これらの事業運営に当たっては、福岡県労働局職業安定部及び福

岡山福祉労働部の指導を得ながら実施するとともに、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）と緊密な連携を図りながら、シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）の推進に努めた。

II 事業

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係わる就業機会の確保や社会参加活動のための支援（公益目的事業）

[就業開拓提供等事業]

（１）受託事業（一般）

請負・委任による就業について、関係法令等に準じた業務運営の推進及び高齢者の就業開拓の活動支援を行った。

（２）受託事業（業務委託）

高齢者の就業機会を確保するため、地域活性化に役立つ情報の収集及び提供を行った。

（３）独自事業

高齢者の就業機会の拡大を図るため、地域独特の事業の創出について実施センターへの相談・助言等を行った。

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務に係わる就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

（１）職業紹介事業

センターを通して就職を希望する高齢者に対して必要な情報の提供、相談・助言等を行い、職業紹介事業を実施した。

（２）シルバー派遣事業

シルバー労働者派遣事業について、実施センターと連携・協力し、会員の派遣について円滑な就業の推進を図り、臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務の就業の範囲において、派遣労働を希望する高齢者を対象に登録を推奨し、労働者派遣法に基づき、シルバー派遣事業を実施した。

（３）雇用・就業の促進

県内の一般高齢者が希望する職種に就職・就業できるように、ハローワーク及び事業主団体等と連携し、講習会を開催、雇用による就業を推進した。

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するため、普及啓発事業等及び情報の提供、安全・適正就業事業、研修・講習事業、指導・助言等事業、調査研究事業を実施する。（公益目的事業）

1 普及啓発事業

シルバー基本理念のもと事業の発展と拡充を目指し、シルバー事業を一般に幅広く広報し、会員の就業機会の確保及び新規会員募集等について周知・広報した。

2 安全・適正就業推進事業

安全・適正就業対策委員会を設置し、安全就業の徹底を行い、安全意識を徹底するための指導・相談を実施した。また、適正就業については、高年齢者雇用安定法で定める就業の範囲を指導し、指導・相談業務等を通して就業の適正化に努めた。

3 指導・相談事業

公益活動を行っている連合会及びセンターの業務執行・法人管理及び財産運用については、関係法令に基づく事業運営が求められており、福岡労働局・福岡県・公認会計士及び連合会職員により実地検査等を実施し、運営上の諸課題等について助言・指導・相談を行った。また随時、面談及び電話により、業務・会計に関する相談業務を行った。

4 研修・講習等事業

シルバー事業を取り巻く社会環境の変化に伴い、多様化する高齢者の就業ニーズ及び地域ニーズに対応するため人材の育成を目的とした講習会、介護関連研修の開催及び子育て・福祉・家事援助サービス事業を拡充するための研修会を開催した。

5 調査研究事業

センター事業の統計及び高齢者の社会参加活動等に関する情報を収集し、活用した。

第Ⅲ 個別実施事業

1 普及啓発活動

(1) 広報活動

新聞・ラジオ・テレビ等マスコミを活用して、会員活動の紹介、事業内容の提供、シルバー事業の周知を図った。

① 連合会事業活動の周知徹底を図った。

・機関誌「シルバー連合ふくおか」の発行

秋号発行（9月末）26,500部、会員・関係各所に配布

冬号発行（2月末）26,500部、会員・関係各所に配布

・ホームページの内容の充実

② 全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間を活用し広報活動を実施した。

・連合会長・センター理事長連名による支援要請の作成・配付

・シルバーフェスティバルを開催（10月）来場者へ事業を広報

10月19日（土）、20日（日）RKB放送会館前広場で開催

11センターが出展協力（福岡市、朝倉市、直方市、柳川市、久留米市、

大牟田市、筑紫野市、宮若・小竹、糸島市、うきは市、須恵町)

両日で約8万人の来場者あり。

③ 仕事の受注、会員の募集、センター会員の活動状況及び研修・講習等の情報を広く一般へ広報した。

・センターのホームページの拡充

・シルバーフェスティバルをはじめ協賛イベント等でチラシやグッズ配布を実施

④ 労働者派遣事業の周知・広報

・シルバー派遣事業啓発リーフレットの作成に向けた意見聴取等実施

⑤ 福岡県高齢者子育て支援推進事業の普及啓発活動を推進した。

・福岡県「70歳現役応援センター」と連携、シルバー事業及び「福岡県高齢者子育て支援推進事業」を幅広い層へ広報、ボランティア活動や就職及び就業等社会参加の場を開拓

・子育てマイスター認定研修会の開催案内等のチラシの作成・配布

6, 500部作成、各SC、市町村、関係機関等へ配付

・子育てマイスター事業の関係機関を訪問、周知・広報

各市町村関係機関、保育施設、子育て支援実施者等 延約244箇所訪問

・子育てマイスター通信（報告書）を2, 500部作成、各関連団体等へ配布

⑥ 高齢者活躍人材確保育成事業の普及啓発活動を推進した。

・セミナー・シンポジウム、就業体験、技能講習開催案内等リーフレット・チラシの作成・配布

リーフレット3, 000部作成、チラシ121, 000部作成

ハローワーク、各SC、市町村、関係機関等への配布

・セミナー・シンポジウム、就業体験、技能講習受講者募集活動、周知・広報

TVCM、市町村広報誌、ホームページによる周知・広報

⑦ 公益活動に係る寄附金募集の啓発

⑧ センター入会等促進のためメディアやイベントを活用した広報活動を実施

普及・啓発用メモ帳80, 000部、リーフレット25, 000部作成

各SCへ配付

KBCラジオ水と緑のキャンペーンおよび中洲JAZZに協賛、会員募集チラシ等サンプリング、ラジオCMの放送等実施

KBCラジオ主催「セカンドライフHAPPYフェスタ」協賛

11月23日（土）エルガーラホール ブース設置にて作品展示・チラシ

1, 000枚サンプリング・ステージPR・ラジオCM放送等実施

(2) 社会参加活動の推進

① 各地域でのボランティア活動を推進した。

② 子育てマイスターのグループ化を促進し、会員や子育てマイスターの知恵と経験を生かした子育て支援活動を推進した。

③ 子育てマイスターの更なる活躍を目指し、活動先の開拓やマッチングの強化を図った。

訪問活動 126 件、電話活動 619 件、依頼延数 182 件、マッチング成立 208 件（グループ等加入含む）を達成

④ 各自治体及び地域高齢者団体等が行うセミナーや講習・研修会などを情報提供し、地域で取組む社会参加活動を支援した。

(3) 地域交流活動

・市町村、社会福祉協議会、ファミリーサポートセンター、保育所、NPO等と連携を図り県内全地域へ交流活動の輪を広げた。

・県の商工会連合会、中小企業団体中央会・中小企業家同友会等と連携を深め、セミナーへの参加依頼等を行い、就業の場を拡大した。

(4) 独自事業

センター事業の活性化のため、会員の豊富な経験・知識を活用し、地域の特性を生かした事業の創出を支援した。

① 実施センターへの助言・相談等の支援

② 全国のシルバー人材センターの独自事業について情報の収集・提供

③ 県内センターが実施している地域の特性を生かした事業の紹介

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業の周知・徹底

「安全は全てに優先する」就業会員の安全意識の高揚を図り、事故のない安全な就業の徹底を目指し、現場パトロール等を強化した。

① 安全・適正就業対策委員会の開催

・安全就業基本計画、年間実施計画の策定、事故分析、改善策の検討

第1回 4月12日（金） 県中小企業振興センター

第2回 6月13日（木） //

第3回 3月12日（木） //

② 安全・適正就業パトロールの実施、改善指導

・計画的なセンター訪問によるパトロール活動の実施

7月24日（水） 篠栗町SC

7月31日（水） 筑前町SC

8月21日（水） 豊前・上毛SC

9月 4日（水） 春日市SC

- 9月11日（水） うきは市SC
- 9月25日（水） 宮若・小竹SC
- 10月 9日（水） 久山町SC
- 10月16日（水） 小郡大刀洗広域SC
- 10月30日（水） 福津市SC
- ・重大事故発生時の緊急パトロール、現場検証の実施（発生時、適時）
 - 12月25日（水） 八女広域SC（発生時、現場検証）
- ・緊急安全・適正就業対策委員会の開催（重大事故発生時、適時）
 - 1月17日（金） 八女広域SC
(委員長、委員、福岡労働局、県新雇用開発課等出席)

② 安全就業促進大会の開催

- 7月10日（水） 福岡市立東市民センター
出席者370人（安全・適正就業対策委員を含む）
- 令和元年度 安全標語の入賞作品8点の表彰
最優秀賞作品【一声を かける勇気が 事故防ぐ】
公益社団法人八女広域シルバー人材センター 野田 勝利 氏
- 令和元年度 安全就業優良センター9センターの表彰
宗像市SC・志免町SC・篠栗町SC・築上町SC・みやこ町SC
飯塚市SC・小郡大刀洗広域SC・筑前町SC・うきは市SC

(2) 適正就業の徹底

① 安全・適正就業推進員研修会

2月19日（水） 県中小企業振興センター 58人参加

② 適正就業の相談、助言、指導

- ・来訪、個別訪問、電話等による相談・助言、指導の実施

③ 県内各ブロックの安全・適正就業に関する研修・講習等の支援

- ・各ブロックの要請に基づき、研修、講習会等を支援した。

3 シルバー派遣事業の実施

事業実績

就業実人員	就業延人員	契約金額
3,186人	283,780人日	1,277,406,875円

(1) シルバー派遣事業の積極的な推進

- ① シルバー派遣事業に関する情報の収集及び提供
連合会主催の研修及び会議等の開催時に情報提供
- ② センターに対し必要な指導・相談及び研修会の開催

全シ協等が実施する派遣元責任者講習の受講促進

- ③ 就業上の諸問題について、労働局の支援のもと相談・指導等及び研修会の開催
12月16日（月） 改正労働者派遣法に関する説明会開催
改正のポイント、同一労働同一賃金実現に向けた働き等労働局から講師を迎え
開催 参加者78人

(2) シルバー派遣事業運営体制の構築・強化

- ① 派遣事業実務担当者意見交換会

3グループに分けて開催

改正派遣法に伴う同一労働同一賃金に関する説明実施

11月7日（木） 午前 14SC 21人

午後 14SC 18人

11月11日（月） 午後 13SC 21人

- ② 派遣事業実務に関する検討委員会の設置・開催

派遣システム検討委員会を設置、システムに関する検討を行った。

委員は各ブロックから1～2人及び連合会職員により構成、計10人

第1回 10月24日（木） 委嘱状交付、要綱承認、システム課題検討等

第2回 1月15日（水） NRI担当者を迎え直接の意見交換実施等

第3回 3月18日（水） システム更新情報、年休管理、意見交換等

(3) 雇用就業の促進

- ① 労働局等主催の会議等の情報の収集、提供

- ② 地域高齢者対象講習会の実施

(4) 法39条に基づく業務拡大の促進

北九州市 1月1日から実施

業種：58 飲食料品小売業 職種：E-39 飲食物調理の職業

業務の内容：調理補助業務 就業実人員：1人

(5) 産業保健活動（安全衛生・健康管理）等の対策

4 職業紹介事業の実施

- ① 関係行政機関との情報の交換及び連絡会議等への出席

福岡労働局が主催する「シルバー人材センター事業推進会議」等を活用、関係する行政機関の情報収集及び交換

- ② 各センターへの必要な指導・相談

有料職業紹介事業への理解と適正な運営について、高齢者の雇用・就業などに関する指導・相談等を行った。

常用就職件数	臨時就職件数	日雇就職延数	就業実人員	契約金額
4 件	0 人日	1 人日	7 人	176,892 円

(人材紹介：久留米市、福岡市、春日市、筑紫野市)

5 指導・相談事業

(1) 指導・相談業務の実施

事業運営上の諸課題、適正な会計処理等について適切な指導・助言等を行った。

- ① センター事業の進捗状況等について情報収集・提供
- ② 専門家（公認会計士・弁護士・社会保険労務士）と業務提携し、センターの法人運営・労務管理・会計・業務等の処理について相談業務の実施・指導
- ③ 公認会計士・福岡労働局・福岡県・連合会合同の会計・業務指導・相談の実施
・個別訪問 (年間15SC)

8月22日(木)	行橋市SC	行橋市商工会議所
8月26日(月)	中間市SC	センター会議室
9月6日(金)	須恵町SC	〃
9月27日(金)	岡垣町SC	〃
10月11日(金)	大野城市SC	〃
10月15日(火)	直方市SC	〃
10月28日(月)	春日市SC	〃
11月6日(水)	福岡市SC	〃
11月19日(火)	柳川市SC	〃
11月27日(水)	久留米市SC	〃
12月4日(水)	古賀市SC	〃
12月11日(水)	筑后市SC	〃
12月13日(金)	那珂川市SC	〃
12月18日(水)	新宮町SC	そぴあしんぐう会議室
12月23日(月)	篠栗町SC	センター会議室

- ④ 全シ協指導員（連合会事務局長兼任）の個別指導の実施

(年間13SC)

8月22日(木)	行橋市SC	行橋市商工会議所
8月26日(月)	中間市SC	センター会議室
9月6日(金)	須恵町SC	〃
9月27日(金)	岡垣町SC	〃
10月11日(金)	大野城市SC	〃
10月15日(火)	直方市SC	〃

10月28日(月)	春日市SC	センター会議室
11月6日(水)	福岡市SC	〃
11月27日(水)	久留米市SC	〃
12月4日(水)	古賀市SC	〃
12月11日(水)	筑後市SC	〃
12月13日(金)	那珂川市SC	〃
12月23日(月)	篠栗町SC	〃

- ⑤ 適正な事業運営についての相談・助言、指導
- ⑥ 公認会計士による決算書類点検及び指摘事項報告書作成
- ⑦ 「職場等における悩みごと相談窓口」の設置(令和元年10月8日)
 - ・北九州ブロックメンタルヘルスに関する健康セミナー

1月21日(火)	北九州市SC	会議室	11人
----------	--------	-----	-----

(2) 就業相談及び入会説明会への支援

- ① センター会員及び一般高齢者を対象に来訪や電話等による就業、就職及び社会参加活動等について随時、相談・助言
- ② 福岡県70歳現役応援センター内に「センター相談窓口」及び「ふくおか子育てマイスター相談窓口」を設置、雇用・就業相談員及び子育てマイスター活動支援員を配置し、来訪者及び電話等での相談に対応、研修会の案内、受講申込み説明、受付等を行った。

(3) 各地域(ブロック)への情報の提供及び相談・指導

県内各ブロック協議会へ研修活動経費の支援、シルバー事業の適正な運営を図るため、連合会職員を派遣、相談・助言及び指導等を実施した。

・県内4ブロック協議会の研修活動等に対する支援

11月13日(水)	筑紫・糸島地区福祉・家事援助サービス会員合同研修会		
	太宰府市いきいき情報センター	30人	(会員および職員)
12月13日(金)	筑紫・糸島地区SC職員研修会		
	地域活性化複合施設太宰府館	11人	
2月5日(水)	筑後ブロック会計担当職員研修会		
	小郡大刀洗広域SC	16人	
2月7日(金)	筑豊ブロック経理職員研修会		
	直方市SC	7人	
2月8日(土)	北九州ブロック役職員研修会		
	岡垣町いこいの里	46人	
2月12日(水)	京築地区会計担当職員研修会		
	行橋市はーとプラザとはや	6人	

2月18日（火）筑紫野市SC会員研修会	総合福祉センター	127人
2月21日（金）筑後ブロック業務担当職員研修会	柳川市SC	22人

6 未設置町村へのセンター設置の推進

県内未設置6町村に対する高齢者の就業活動促進のため、次の2町村を訪問、センターの設置、要請を行った。

2月28日（金）宇美町訪問

3月13日（金）東峰村社会福祉協議会訪問

- ・センター設置要請、（参考事例）県内センターの活動状況の提供
- ・全国のセンターの活動情報の提供

7 研修・講習等事業

（1）セミナー・就業体験・技能講習等事業

厚生労働省の委託事業である「高齢者活躍人材確保育成事業」を受託し、高齢者や企業に対して、センターを積極的に周知・広報するとともに、実際の就業体験を通じて高齢者、企業双方のセンターに対する理解を深め、高齢者がセンターに興味を持ち自信を持って就業できるよう必要な技能講習を行い、センターの新規会員、新たにセンターを活用する企業を増加させるための事業を実施した。

（ア）事前会議の実施

6月11日（火）第1回全体事務局長会議で事業内容の説明を行った。

（イ）シルバー、説明会、就業体験、技能講習に関する周知・広報

自治体広報誌、セミナー・シンポジウム、新聞・テレビによる周知・広報

- ・新聞、雑誌等による周知・広報

読売新聞、西日本新聞、朝日新聞、毎日新聞（半5段、半3段、半2段）、情報誌（3回）、求人チラシ（6回）を媒体として各講習2回程度掲載した。

- ・テレビによる周知・広報

セミナー、就業体験、技能講習、会員募集を15秒CM及び30秒CMとJR博多ビジョン、ソラリアビジョンを媒体に周知した。また、「週間よかタイム」（7分間）のシルバー人材センター事業（連合会及びセンターの独自事業・サークル活動）の紹介を行った。

- ・自治体の広報紙による周知・広報

セミナー、技能講習、就業体験について開催市町村等の広報誌に掲載した。

- ・イベント等による周知・広報

① シルバーフェスティバル（RKBラジオまつり併設）

② シルバーフェスタ北九州

③ しごとボランティア合同説明 (70歳現役応援センターと共催)

新規入会者数 85人

(ウ) 説明会

- ・高齢者向けセミナー (計9回)
 - 大セミナー (2回) 受講者数 335人
 - 小セミナー (7回) 受講者数 201人 計536人
- ・企業向けシンポジウム (中止)
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
- ・新規会員数目標 (計90人)
新規入会者数 37人

(エ) 就業体験

- ・高齢者向け、企業向け (計11回)
 - 高齢者向け (8回) 受講者数 100人
 - 企業向け (3回) 受講者数 36人
- ・新規会員数目標 (計30人以上)
新規入会者数 11人

(オ) 技能講習

- ・講習科目 (7科目)
介護・家事援助、ハウスクリーニング、店舗スタッフ、マンション管理、
剪定・チェーンソー、刈払機、調理補助
- ・講習回数 (計28回)
- ・講習定員 (計280人)
- ・新規会員数目標 (計90人以上)

講習名	予定回数 (回)	開催数 (回)	受講開始者数 (人)	修了者数 (人)	新規入会者数 (人)
介護・家事援助	8	8	48	48	24
ハウスクリーニング	4	4	36	36	9
店舗スタッフ	1	1	9	9	2
マンション管理	2	2	37	37	7
剪定・チェーンソー	3	3	28	28	5
刈払機	6	6	58	58	25
調理補助	4	4	40	39	11
合計	28	28	256	255	83

(2) 研修・講習事業

(ア) センター役職員や実務担当職員を対象に、適正なシルバー事業の実施について情報を提供するとともに、会員の就業機会拡大、職員の資質向上を目指して研修・講習会を実施した。

① 役職員研修会の開催

6月18日(火) 『女性が活躍しやすいセンターづくり』

ホテルサンライン福岡博多駅前 94人

② 理事長研修会

11月1日(金) 県中小企業振興センター 45人

③ 監事研修会

3月3日(火) 県中小企業振興センター

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催中止

④ 職員研修会

・消費税関係説明会

10月3日(木) 県中小企業振興センター 98人

・総務・会計担当職員研修会

3月5日(木) 県中小企業振興センター

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催中止

(イ) 福祉・家事援助サービス、子育て支援事業は、地域ニーズにマッチした活動で地域活性化に寄与する取組みを推進した。また、県から「福岡県高齢者子育て支援推進事業(ふくおか子育てマイスター事業)」を受託し、地域高齢者の子育て支援活動の推進およびセンター事業の活性化を図った。

① 子育てマイスター認定研修等の実施

・ふくおか子育てマイスター認定研修会の開催 (年間4回)

第1回久留米市会場 久留米シティプラザ

9月26日(木)～10月11日(金) うち7日間

受講者22人、修了者16人

第2回福岡市会場 ふくふくプラザ

11月8日(金)～11月25日(月) うち7日間

受講者52人、修了者55人(前年度および前会場未修了者含む)

第3回飯塚市会場 イヅカコミュニティセンター

12月5日(木)～12月18日(水) うち7日間

受講者20人、修了者18人

第4回北九州市会場 コムシティ

1月7日(火)～1月27日(月) うち7日間

受講者44人、修了者51人（前年度および前会場未修了者含む）

・フォローアップ研修会の開催（年間8回）

- 1 「子どもと絵本」 9月13日（金） イヅカコミュニティセンター（飯塚市） 24人参加
- 2 「障がい児の支援」 10月29日（火） コムシティ（北九州市） 41人参加
- 3 「活動先探索講座」 10月29日（火） コムシティ（北九州市） 20人参加
- 4 「お母さん攻略法」 11月29日（金） クローバープラザ（春日市） 47人参加
- 5 「活動先探索講座」 11月29日（金） クローバープラザ（春日市） 21人参加
- 6 「乳幼児ケガ・病気対応法」
12月20日（金） 久留米シティプラザ（久留米市） 23人参加

新認定者向けフォローアップ研修会

- 7 「わらべうたで遊ぼう」 1月30日（木） ふくふくプラザ（福岡市） 36人参加
- 8 「活動先との交流会」 1月30日（木） ふくふくプラザ（福岡市） 37人参加

② 担当職員会議の開催

全体及びグループ別に開催、事業の実態調査や推進方法の検討等を行った。

9月20日（金） 県中小企業振興センター 49人参加

全体会議後事業別・課題別にグループ意見交換を開催

③ 担当職員研修会の開催

12月19日（木） 県中小企業振興センター 41人参加

講義「老化の理解」

グループワーク 「シルバーのキャッチコピーを作ろう」「課題検討」等

④ 会員研修会の開催

2月13日（木） レソラホール（福岡市） 214人参加

・ブロック代表による事例発表4SC（福岡市、苅田町、田川地区、筑後市）

・作品展示10SC

（大野城市、太宰府市、筑紫野市、古賀市、須恵町、岡垣町、みやこ町、
宮若・小竹、大牟田市、朝倉市）

・作業療法士による講演「いつまでも元気で輝ける秘訣」を実施

⑤ センター訪問による指導・相談・研修事業の実施

5月28日（火）、29日（水） 筑紫野市SC

子育て支援事業研修会講師 15人

9月 9日（月） 小郡大刀洗広域SC

子育て支援事業従事者会議講師 30人

1月29日（水） 直方市SC 子育て支援会員研修会 20人

8 調査研究事業

(1) 高齢者活躍人材確保育成事業におけるアンケートの実施

高齢者活躍人材確保育成事業で実施する技能講習や就業体験等において参加者に対しアンケート調査を行い、その結果の分析、開催地のSCへの情報提供を行った。

(2) 高齢者の雇用・就業等情報の収集・分析及び提供

福岡労働局職業安定部職業対策課、ハローワーク及び県主管課等と連携し、求人情報の収集・分析、関係機関及び団体、一般の高齢者等及びセンター会員への提供

(3) 業務年報の作成及び月次統計の集計・分析、結果の情報提供

シルバー事業の総括及び県内の人口構造及び高齢者の状況や会員の状況・受注件数・事業実績等について調査、集計し業務年報を作成、各自治体及び関係機関・団体等へ配布した。

業務年報 300部作成、関係各所に配布

(4) 子育てマイスターの活動調査の実施、結果分析、評価、事業効果の検証

① 子育てマイスター新認定者に対するアンケート調査の実施

② 子育てマイスターに対する活動意志確認に関する調査の実施

③ 関係団体（保育施設やNPO等）に対する子育てマイスター活用に関する意識調査の実施

保育施設、NPO等300箇所を郵送で調査を実施208箇所から回答回収結果を集計、分析し、活動開拓や研修実施のために活用した。

④ 子育てマイスターに対する活動状況調査の実施

ふくおか子育てマイスター1,034人を対象に書面および電話で調査実施（前年度までの認定者1,541人から死亡、転居、辞退者等を除いた数）調査結果を集計、分析し県へ報告した。

(5) シルバー事業推進計画策定委員会の設置・開催

総合的な事業運営の指針として中期計画を策定するため、連合会及びセンターで協議を重ねる。委員は各ブロックから2人及び連合会役職員により構成、計11人

第1回 12月 9日（月） 前回計画の概要と主な取組結果等

第2回 1月22日（水） シルバー事業の現状と課題（整理）①

第3回 2月14日（金） シルバー事業の現状と課題（整理）②

第4回 3月11日（水） シルバー事業の現状と課題（整理）③